

小学校での喫煙防止教育の効果 海外誌に論文投稿、掲載

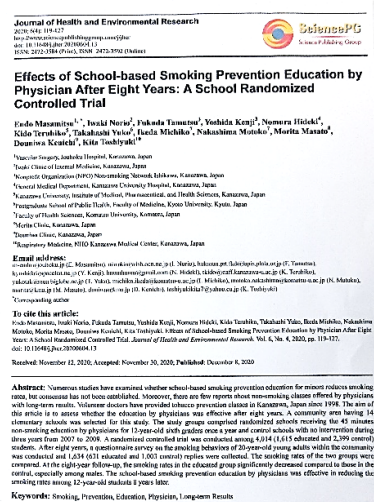
NPO法人禁煙ねっと石川

理事長 遠藤将光

以前から多くの方々にご協力を頂き、禁煙ねっと石川の活動として行ってきた成人式での喫煙に関するアンケート調査の結果、小学校で行っている喫煙予防の教育効果が立証されており、調査結果の詳細について健康に関する英文誌に投稿し、掲載されました。

私達が毎年の成人式で行ってきたアンケート調査の結果、医師が小学校への出前教育で小学6年生を対象に将来の喫煙防止に向けて1時間の教育行くと、8年後の20才では教育実施群は教育無し群に比較して喫煙率が低いことが示されています。

男性は有意に低く確認されますが、女性では有意差が認められないのは、女性の喫煙率が諸外国に比べ非常に低い為、顕著な差としては表れない為と思われれます。



Journal of Health and Environmental Research

私達の行ってきた小学生での喫煙防止教育が有効だったことが証明されていますので今後も引き続きタバコの害を子供達に伝えて行きたいと考えています。

掲載誌 : Journal of Health and Environmental Research
2020; 6(4): 119-127 doi: 10.11648/j.jher.20200604.13

論文タイトル: Effects of School-based Smoking Prevention Education by Physician
After Eight Years: A School Randomized Controlled Trial

下記よりアクセスできます。

<http://www.sciencepublishinggroup.com/journal/paperinfo?journalid=344&doi=10.11648/j.jher.20200604.13>